
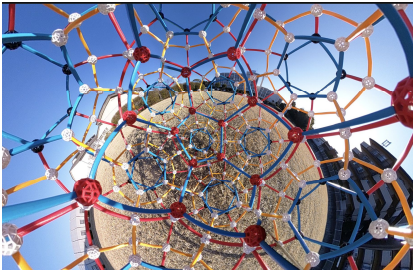


研究機関名	滋賀大学				
プログラム名	正多面体はなぜ美しい？～正多面体に関する新定理～				
先生(代表者)	篠原雅史(しのはらまさし)・滋賀大学教育学系・准教授				
自己紹介	<p>鹿児島出身・大津市在住の46歳です。滋賀にきて10年が経ちました。数学と音楽が大好きです。若い時にはバンド活動や、ギターの弾き語りをしていました。</p> <p>数学の中でも、図形分野の研究をしていて、4次元空間の点配置に関するある未解決問題を解決するのが目標です。</p>				
開催日・募集対象	2023年11月11日(土)	受講対象者	中学3年生～高校3年生	募集人数	15名
集合場所・時間	滋賀大学教育学部 本館入口前		(集合時間)	9:30～9:55	
開催会場	滋賀大学教育学部 住所:〒520-0862 大津市平津2-5-1 アクセスマップ URL: https://www.edu.shiga-u.ac.jp/faculty/access				
内 容					
<p>正多面体が5種類しか存在しないことは古くから知られており、それらの間には興味深い関係があります。このプログラムでは、模型製作を通じて正多面体の関係を体験し、正十二面体予想について学びます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 正多面体の基本：正多面体の定義や性質を学び、正多面体が5種類しか存在しない理由を確認します。 2. 模型で学ぶ正多面体の関係：参加者は模型を組み立てながら、5つの正多面体の相互関係について学びます。また、正十二面体の距離構造を調べ、正十二面体予想について紹介します。 3. 四角形の距離構造と正十二面体予想：平面上の四角形の距離構造を調べることで、正十二面体予想の面白さ・不思議さを体感します。 4. 正十二面体予想の証明の概要：平面の状況を振り返り、正十二面体予想の証明に関する概要を紹介します。 5. 研究の未来：このような問題に取り組むことで、将来解明したい研究のテーマについて語ります。 <p>このプログラムを通して、正多面体の不思議な世界を体験しながら、数学の研究を身近に感じてもらえることを目標とします。</p>					
					

持ち物	特記事項
筆記用具	
スケジュール	
<p>09:30 ~ 9:55 受付</p> <p>10:00 ~ 10:15 開講式</p> <p>10:15 ~ 11:00 講義 「正多面体について知ろう」</p> <p>11:15 ~ 12:00 実習「模型を使って正多面体の相互関係を体感しよう」</p> <p>12:00 ~ 13:00 昼食・休憩</p> <p>13:00 ~ 13:45 探求「平面上の4点の図形」</p> <p>14:00 ~ 14:45 講義 「正多面体に関する新定理」</p> <p>14:45 ~ 15:00 クッキータイム</p> <p>15:00 ~ 15:45 まとめ「正多面体はなぜ美しい? ~研究ビジョンの紹介~」</p> <p>15:45 ~ 16:00 修了式(アンケート記入、未来の博士号授与)</p> <p>16:00 終了・解散</p>	

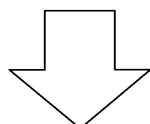
課題番号	23HT0122	分野	数学	キーワード	正多面体
------	----------	----	----	-------	------

《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	滋賀大学教育学系・篠原雅史
住所	滋賀県大津市平津2-5-1
TEL番号	077-537-7701
E-mail	shino@edu.shiga-u.ac.jp
申込締切日	2023年10月31日(火)
当プログラムは先着順にて受付を行います。	

《プログラムと関係する先生(実施代表者)の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2018年度 ~ 2022年度	基盤研究(C)(一般)	18K03396	Ramsey 的手法による極値組合せ論の研究
2022年度 ~ 2025年度	基盤研究(C)(一般)	22K03402	点配置の距離構造に着目した極値組合せ論の研究



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000070432903>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。